



さんが

第一二〇号

令和六年

西暦二〇二四年

正月

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三一-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

謹賀新年

玉龍山東運寺

住職 柳田彰宣

徒弟 慧亮

寺族 マヤ

妙子



画 妙子

今年は辰年、龍の年です。

中国の伝説に、「龍門」というものがあります。そこを通る魚はみな、龍となるとい言い伝えです。

ただし、魚の姿は変わらず、そのまま龍の力を得るとされています。

道元禅師はこの伝説を、仏教の悟りにたとえて紹介されています。

魚である私たちふつうの人間であっても、縁を得られたならば、人間の姿そのまま、龍の力である悟りに至ることができる、というものです。

辰の年、みなさまに「龍門」が見つかりますように、願っています。

ご本尊さまのもと、東運寺も新しい年をむかえました。檀信徒皆さまのご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

団参に、行ってきました

昨年十一月、団参に行ってきました。四年ぶりの一泊です。東運寺からは住職を含め、七名で参加しました。

今回は中国地方へ。岡山にある曹洞宗の道場、洞松寺（とうしょうじ）さまへ参拝し、中国山地を越えて鳥取へ。皆生温泉に宿泊いたしました。

洞松寺さまでは、ふつうのお寺とはまた違う、道場らしい雰囲気印象的だったと思います。翌日は鳥取砂丘での観光や、海産物のお土産めぐりなど、山陰を満喫していただきました。



今年の団参は、大本山總持寺です

今年は、横浜にある曹洞宗大本山總持寺をお開きになった、瑩山（けいざん）禅師さまの七百回忌にあたり、全国から参拝が集まる年となります。

京都からは9月11日から12日の日程で、總持寺にお参りします。詳しくは、決まりしだいご案内申し上げます。みなさまのご参加を、お待ちしております。

薬師堂 開けております

元旦から八日まで、薬師堂を開けております。

お薬師さまの功德は、人々を病苦からお救いくださるというもの。今年も息災で過ごせますように、お参りくださいませ。



東運寺の徒弟ふたりが、大本山永平寺から帰ってきて一年あまりがたちます。法要に出たり、月々のご命日にお伺いしたりと、みなさまの目に触れる機会が多くなってきていると思います。あわせて、京都市内にある、別の大きなお寺のお手伝いもしております。

昨秋には「瑞世（ずいせ）」という、出世の儀式もそろって終え、色のお袈裟を付けることが、許されるようになりました。

まだまだ経験も足りず、ご迷惑をおかけすることもあろうかと思えます。みなさまの温かい目で、お育てくださいますよう、お願い申し上げます。



↑ ホームページ



↑ お寺の日常